

事業所名

Space Kids 沖縄 (第4教室・シーサー)

支援プログラム

作成日

令和8年

5月

1日

法人(事業所)理念		・スペースキッズ沖縄の理念は、子どもたちから「その日、いち日、僕は、私は幸せだったよ」との言葉をもらうことを目標とし、児童と保護者の「願いと希望」の実現に向けて職員一丸となって取り組むことです。						
支援方針		・木造2階建ての2階にシーサー教室を配置、未就学～小学5年生が在籍しています。ひとり一人の気持ちや個性に寄り添いながら、「個別支援計画書」に沿って、成長のサポートにベストを尽くします。 【シーサー～安心できる居場所の中で成長と自信を育む～】 ・安心安全：信頼できる環境づくり/愛情：個性を尊重し、温かく支える/才能：得意を伸ばし、挑戦を応援/多様性：違いを認め、共に学ぶ/頑張る：努力を認め、挑戦を後押し ・我慢：社会性と乗り越える力を育む/学び：興味を引き出し、学ぶ習慣を支援/思いやり：助け合い、感謝を伝える/応援：子どもも保護者も共に支える ＊シーサー教室は、すべての人の成長を応援します。						
営業時間		10時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	＊目的：基本的な生活習慣を身につけ、自己管理能力を育む。 ・食事・栄養管理：食具の使い方、食事マナー、偏食改善 ・排泄の自立：トイレトレーニング、衣服の上げ下げ、手洗い習慣 ・衣服の着脱・身だしなみ：衣服選び、ボタンやファスナー練習 ・清潔習慣：手洗い・うがい、歯磨き指導、身だしなみ習慣化 ◆ 支援のまとめ：生活の自立を促し、健康で快適な日常を送れるよう支援する。						
	運動・感覚	＊目的：基本的な運動能力や感覚統合の発達を促す。 ・粗大運動：バランス遊び、ジャンプ運動、障害物競走 ・微細運動：折り紙、粘土遊び、ハサミのりを使った作業 ・感覚統合：触覚・視覚・聴覚刺激、リズム遊び ・姿勢・体幹強化：バランスボール、スクーターボード活用 ◆ 支援のまとめ：運動能力と感覚統合を高め、体の動かし方をスムーズにする。						
	認知・行動	＊目的：思考力や判断力を伸ばし、適切な行動を習慣化する。 ・記憶・注意力向上：神経衰弱、マッチングゲーム ・ルール理解：すごろく、カードゲーム、順番を守る遊び ・感情コントロール：表情カード、深呼吸、ストレス対処法 ・問題解決能力育成：「もし～だったら？」の思考トレーニング ◆ 支援のまとめ：状況を理解し適切な判断ができるように支援する。						
	言語コミュニケーション	＊目的：言葉の理解と適切な表現力を育てる。 ・語彙力強化：絵カード、擬音語・擬態語の活用 ・文章の組み立て：順序を意識した言葉の練習、質問応答 ・会話のキャッチボール：あいさつ練習、絵本の要約 ・集団でのやり取り：ごっこ遊び、順番を守る練習 ◆ 支援のまとめ：言葉の発達を促し、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようにする。						
	人間関係社会性	＊目的：他者との関わり方を学び、集団生活に適応する力をつける。 ・友達との関係構築：名前を呼び合う、良いところ探し ・協力する体験：2人1組の協力遊び、共同制作 ・ルールのある遊び：椅子取りゲーム、仲間外れ防止の遊び ◆ 支援のまとめ：人間関係を円滑にし、集団の中で適応できる力を養う。						
家族支援	・保護者の育児相談、きょうだい児の負担軽減支援を実施。さらに、学校・福祉サービス・相談機関と連携し、家庭と地域全体で子どもの成長を支えます。 ・保護者向け相談：子どもの発達や学習、生活面のアドバイス ・進学・支援環境の検討：学校・支援機関との連携 ・家庭でのサポート方法の共有：子どもの成長に合わせた接し方 ・子どもが安心して次のステップへ進めるよう、家族とともに支援を行います。	移行支援	＊移行支援は、入園・入学・進級後の生活がスムーズに進むようサポートします。 ■環境の変化に向けた準備 ・幼稚園・保育園から小学校への移行を支援 ・小学校低学年の学校生活への適応サポート ■生活・学習支援 ・時間管理の習慣づけ ・通園・通学の自立サポート ・基礎学習の定着 ■社会性の向上 ・集団生活への適応練習 ・公共施設の利用体験 ■保護者・学校との連携をします。 ・進学や支援環境の検討 ・子どもの発達状況に応じた支援をします。 ◆ 安心して次のステップへ進めるよう、一人ひとりに合ったサポートを提供します。					
地域支援・地域連携	＊子どもの社会参加を促し、地域全体で支える仕組みを構築します。 ・学校・福祉・医療機関と連携し、学習・生活・発達支援を強化します。 ・地域交流を通じ、イベント参加や公共施設での体験活動を実施します。 ・防災・安全対策として避難訓練や安全マップ作成を推進します。 ・地域資源の活用で移動支援や就労支援につなげます。 ・地域と協力し、子どもの自立と社会参加を支援します。	職員の質の向上	＊職員の専門性を高め、質の高い支援を提供するための取り組みを実施します。 ・研修・勉強会：障害特性、支援技法、法改正対応の研修を定期開催する。 ・OJT・実践指導：児発管による実践指導、ケースカンファレンスの実施。 ・評価・フィードバック：代表による定期的な面談や業務評価でスキルアップ支援をします。 ・チーム連携強化：職員間の情報共有を促進し、支援の質を均一化。 ・外部機関との連携：専門家の講師招聘、他施設との交流研修を実施。 ・職員の成長を支え、より質の高い支援を提供できる体制を構築します。					
主な行事等	■社内研修(年9回) ・「救急対応」「障害者虐待防止」「コンプライアンス・BCP」「5領域」「遊び」など、基礎から実践まで段階的に実施します。 ・社内大会(7月・1月)＊会社全体の半年間の取り組みを、各事業部ごとに発表します。 ・避難訓練(年4回) ・部分訓練(6月・12月)、総合訓練(9月・3月)で実施します。 ・消防・避難器具点検(5月・10月) ・ケース会議(年4回)4月・7月・10月・1月に開催します。 ■保護者会・自己評価 ・保護者会(5月・11月) ・自己評価(2月実施、4月公表) ・地域清掃(年3回)5月(北名城ビーチ)、6月(平和祈念公園・自治会連携)、11月(親水公園) ■イベント ・夏祭り(8月)、名城ミニミニ文化祭出店(11月)、年末お楽しみ会(12月) ・次年度計画(3月) ＊職員・保護者の意見を反映して作成します。							